

松中だより

京都市立松原中学校

9月号

《教育目標》 自律・友愛・創造

「自らを律し、なかまを大切に、創造性豊かな人」

自らを鍛え、責任ある行動をとり、互いの立場を認め合い、ともに支え合い、高まりあう「なかまづくり」ができ、自らの「夢の実現」に向けて、何事にもチャレンジする創造性豊かな生徒の育成を目指す。

本校のHP…<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=201407>



8月23日の全校集会で、校区内にお住まいの西村壽郎様より、ご寄贈いただいた絵画「海の心響」をお披露しました。体育館の壁に飾っています。

平成28年8月29日発行
文責 宮田 功



保護者の皆さんへ 「褒めること」

この夏は厳しい暑さが続きましたが、その暑さに負けないぐらい、リオのオリンピックは盛り上りました。多くの選手の活躍が報じられました。中でも注目された競技に体操があります。内村選手の大活躍や若手の白井選手の演技はすばらしいものでした。練習でもあまり成功していない難技を大舞台で決めた白井選手が、どのように育ってきたのかは、興味深いですね。ある雑誌に、二つのことを大事にしているという白井選手の家庭の教育方針が書かれていました。一点目は、「努力を認めて、褒める」です。絵や習字など、あらゆる「成果」を飾って褒めたそうです。二点目は、家庭で徹底的にリラックスをさせることです。妻は「私たちが育てる最後の子だから、悔いがないようやってやりたい。甘やかしていると言われても構わない」という覚悟を聞いたとお父様が思い出を語っていました。

一方、最近出された本に『褒めると子どもはダメになる』(榎本博明著／新潮新書)というものがありました。この本の中では、叱らない子育ての弊害が三つ上げられています。

まず、「打たれ弱い大人になる」と書かれています。だれにとっても人生というのは思い通りにならないので、逆境に耐える力を高める必要があり、過保護に育てるのではなく、適度な挫折が必要だそうです。負荷がかかることで、心が鍛えられていくので、叱られないと「打たれ弱い大人になる」というのです。第二の弊害として、自分を振り返る習慣が身に付かないというものです。至らなくて修正すべき点があつても、そこをはっきり指摘されずに、褒められていれば修正できません。本人は自分の弱点や能力の現状を把握できない人

《裏に続きます》

日	曜	行 事 等	9月の行事予定
1	木	6限体育大会エントリー	
2	金	生徒会小学校訪問（光徳小）	
3	土		
4	日		
5	月	5.6限…3年京町家フィールドワーク	
6	火		
7	水	英検申込	
8	木	英検申込	
9	金	給食締切 4限…1.2年アートアカデミー 体育大会係生徒打合せ	
10	土		
11	日		
12	月		合唱タイム
13	火		合唱リハ2限 2年
14	水		合唱朝練習
15	木		
16	金		
17	土		
18	日		
19	月	敬老の日	
20	火	体育大会予行	
21	水	合唱リハ2限 2年	
22	木	秋分の日	
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		
27	火	放課後展示準備	
28	水	学校祭展示の部	
29	木	学校祭舞台の部	
30	金		

10月の予定 2日…福神社祭礼体験（希望者） 4日…体育大会 6日…5.6限壬生狂言鑑賞 7日…1年生コミプラ事業に参加 13・14日…第三回定期テスト 26日…3.4限1年「京友禅」体験・5.6限生徒会役員選挙

間になっていくそうです。また、褒めることに付随する厳しさの欠如は、「頑張ることができない心」を生み出すという形で悪影響を及ぼし、頑張ることができない大人になるが、三点目となります。イヤな思いをさせないために叱らず、良い気分になれるように褒めて育てようという姿勢が、厳しさを排除し、その甘さが「頑張ることができない心」を生み出すというのです。これらのように、叱らない子育ては、将来の社会で活躍できない大人を生み出すというものです。

白井家の教育で大事にされていたことと、『褒めると子どもはダメになる』が危惧することは、相反するように感じます。このように「褒める」や「叱る」の使い方やタイミングは、親や教師にとってなかなか難しいことですね。

大したことのないのに、「それはすごい」と言うと、励まそうとして大げさに言っているということを子どもはすぐに見破り、意味がありません。白井選手のところで、「努力を認めて」とありますが、これが要点です。つまり、簡単に褒めるのではなく「承認」が大切です。言葉では「よしOK」「では次にいこう」です。つまり、子どもの心理状態が、つねに前向きになり、かつ現状を「承認(=認める)」していくことです。しかし、その「大げさな表現」は稀に必要となります。いわゆる「褒める」という行為です。子どもが自信をもてていない場合は、簡単なことでも「OK、よくできている」と繰り返し、ときに「これは普通なかなかできない」という大げさな表現を使っていると、落ち込みがプラスに転じます。これらのことと通常時と非常時として考えて行きましょう。

通常時は、「承認」で十分です。ただ、非常時(自信を喪失しているとき等)の「褒める」も必要なときがあります。叱る場合や怒る場合は、非常時だと考えましょう。通常時は、行いを改めるように言い聞かせること、つまり「説諭」で十分です。大概、子どもは悪いことをしたときに自分が悪いという認識をもつので、真剣に「教え諭す」ならば、それなりに効果があります。

ただ、非常時である「叱る」や緊急非常事態に用いる「怒る」はときに必要となります。「怒ると叱る」の違いは、「怒る」は感情的で、「叱る」は教育的という感じです。だから、非常時であっても、「叱る」が中心となるはずです。しかし、コーチングでは、一撃で相手を修正させるために、「怒る」ことも重視されていますが、この使い方を間違えないように注意は必要です。当然ですが、怒る場合も「行為」に対して怒るのであり、「人格」を否定してはならないことは言うまでもありません。

信頼関係がなく、いつも「叱る」「怒る」だけを繰り返していれば、どのような結末を招くかは、ご想像のとおりです。結局のところ、「褒める、叱るか、怒るか」という行為自体が問題なのではなく、「子どもが、その後さらに向上していくためにはどうすべきか」という基準で考えていけば、どの行為が正しいかどうかが、わかってくるのではないかでしょうか。

夏季大会等の結果

(順不同敬称略)

野 球	7/16 大枝中に 5 : 4 で勝利 (2回戦) • 7/17 近衛中に 3 : 1 で敗戦 (3回戦)	
サッカー	7/10 下鴨中に 8 : 0 で勝利 (1回戦) • 7/16 洛水中に 4 : 0 で勝利 (2回戦) 7/17 蜂ヶ岡中に 3 : 0 で敗戦 (3回戦)	
男子バスケット	7/18 東山中に 54 : 45 で勝利 (2回戦) • 7/21 洛北中に 100 : 32 で敗戦 (3回戦)	
女子バスケット	7/18 同社女子中に 95 : 16 で勝利 (2回戦) • 7/21 附属桃山中に 50 : 49 で勝利 (3回戦) • 7/22 桃山中に 70 : 14 で敗戦 (4回戦)	
男子 ソフトテニス	7/24 【夏季大会男子団体準優勝】花山中に 2 : 1 で勝利 (準決勝) • 加茂川中に 2 : 0 で敗戦 (決勝) 【夏季大会男子個人】谷村・田中ペア (優勝) 中尾・荻野ペア (3位) 7/28 【府大会男子個人】谷村・田中ペア (準優勝) 中尾・荻野ペア (3位) 7/29 【府大会男子団体優勝】精華中に 3 : 0 で勝利 城南中に 2 : 1 で勝利 加茂川中に 3 : 0 で勝利 8/10 【近畿大会団体】予選リーグ 大正西中 (大阪) と橋本中央中 (和歌山) ともに 1 : 2 で敗戦 【近畿大会個人】 谷村・田中ペア・中尾・荻野ペア 出場	
女子 ソフトテニス	(女子団体戦) 第2位 7/24・7/25 周山中に 3 : 0 で勝利 (1回戦) 春日丘中に 2 : 1 で勝利 (2回戦) 衣笠中に 3 : 0 で勝利 (3回戦) 桜原中に 2 : 1 で勝利 (4回戦) 桂中に 2 : 1 で勝利 (準決勝) 京都光華中に 0 : 2 で敗戦 (決勝) (女子個人戦) 岡田・前島ペアと岸本・大山ペア (ベスト16)	
剣 道	7/21.22 (女子団体戦) 第三位 1.2年個人の部 住野 (2位) 7/29 京都府選手権大会 女子団体出場	
卓 球	7/23 (男子団体戦) 桃陵中に 1 : 3 で敗戦 (1回戦)	7/23 (女子団体戦) 向島中に 3 : 0 で勝利 (1回戦) 神川中に 0 : 3 で敗戦 (2回戦) (女子個人戦) ブロック予選4位 通過…久野・14位通過…松本 7/24 全市大会に出場

☆水泳…3年山本 京都府選手権大会 400m自由形 1位・200m自由形 2位→400m自由形 200m自由形で近畿大会出場

ベトナムの中学生との交流 8月5日にベトナムの中学生10人が本校を訪問されました。剣道や伝統的な遊びを通して、本校の代表生徒と交流しました。KBSや毎日新聞にも取り上げられました。